

# 初上海

外国語学部 中国語学科 3年 福田 諒

〔中国語〕

## 初次上海

外国語学部 中国語学科 3年 福田 諒

大家好。我是外语系中文课3年級的福田諒。今天的夏天，我初次去上海了。

在我从9月6号到9月15号长期逗留了中想用什么我在上海感到了以及3个的想了说。

第一，不用现款正发展。在上海，大多数到一个用便利店以及摊子买的肉馒头。头的会计是电子结算。在日本，信用卡也被好好使用，但是可能有看到甚至用卡的事情。大多数的人用一个手机了结会计。各位中国现在正一回压倒性地通过吧的”AI“技术进。我有通过上课关于中国的AI技术上海出国之前学习的机会，在当地查接看了”中国的干劲强大“的时候的话想了。我也试试，但是因为好像当地的手机号码必要是当普及也在日本不远的将来开始了所以的时候想灵活运用。

第二，与当地的一地方的交流。在上海，上海话，普通话说。我因为只普通话在中文可以使用所以在酒店的登记手续以及菜的订货的时候用普通话，但是不很通晓。理由明确。一个是我的中文不适当。因为没有平常只在学校生活的地方灵活运用中文的机会，并且时间到暑假许久空出来在中文时隔1个月之后第一次会话了所以的时候在自己技术痛感了。第二个是立该说英语的癖。我在学术熟讲师平常教英语。另外，有因为到海外的出国多所以不知不觉地感到困难的话由于英语说的习惯。在日本，也偶尔用。在让为交流是当地的人时候，不逼迫本国的规则以及习惯，重新感到尽管是纳入，但是互相理解正逗留的国家以及文化的重要的了。

第三，人的关系最重要。在这次的研究班集体训，不是只研究班同学，老师，并且陪了研究生，OB，OG，建筑学科，浙江旅行学院的学生交流。一边因为和研究生说话所以用和校内不同的气氛平常交流，一边话能够，能被什么和OB，OG说考虑今后的方向性，因为和其他学科的学生交流所以新的朋友的也增加，如果和浙江旅行学院的学生交流的话，中文能力增长，海外的朋友和一举两得一起能够对方的日语能力增长。另外，在时候出现也恋人。这样让为是否因为亲自扩展人的关系的车轮所以得失不大大地被分开。

最后，如果国家不同的话，文化不同，并且即使我正通过这次研究班集体训在一样的地球上生活也语言也就是心尽管是不同，但是立该连接起来。在实际上进入当地之前由于轻的想法有了，但是现实和理解不同的正是那样。一边一边互相，一边共同生活，一边不在日本停留，到世界广泛地扩展文脉的强大，并且向我的今后感觉到重要了。当有了是非，各位到海外出航的机会的时候，积极拿交流，请增加人的关系。请遇见新的自己。

〔日本語〕

みなさん、こんにちは。私は外国語学部中国語学科3年の福田 諒です。

今年の夏、私は初めてゼミ合宿で上海に行きました。上海は日夜問わず、私が滞在していた黄浦区にある南京路にはたくさんの方が行き交い、日本と比べ交通量が多く、日本でいう新宿のような感じでした。私は9月6日から9月15日まで長期滞在をしてきた中で私が上海で感じたことや思ったことを3つお話ししたいと思います。

一つ目は、キャッシュレスが進んでいることです。上海ではコンビニエンスストアや屋台で買う肉まん1つの会計までほとんどが電子決済でした。日本でもクレジットカードがよく使われています。

が、カードすら使っている人を見かけることはありません。ほとんどの人が携帯一つで会計を済ませます。皆さん一度は耳にしたことがあるであろう「AI」の技術は今中国が圧倒的に進んでいます。私は上海渡航前に授業で中国のAI技術について学ぶ機会があり、現地で直接目にしたとき「中国のやる気は強いな」と思いました。私も試してみたいと思いましたが、現地の携帯電話番号などが必要みだだったので、近い将来日本にも普及が始まったら活用したいと思いました。

二つ目は、現地の方とのコミュニケーションです。上海では上海語、北京語が話されていました。私は中国語の中でも北京語しか使えないので、ホテルのチェックインや料理の注文の時には北京語を使っていました。なかなか通じません。理由は明確です。一つは私の中国語力不足です。普段、学校生活の場でしか中国語を活用する機会がなく、夏休みでしばらく時間が空いてしまったため、1か月ぶりに中国語会話をしたとき自分のスキルに痛感しました。二つ目はすぐに英語を話してしまう癖です。私は普段塾講師で英語を教えています。また、海外への渡航が多いのでつい困ってしまうと英語を話してしまう癖があります。

日本でもたまに使ってしまうほどです。現地の人とコミュニケーションをとるときには自国の規則や慣習を押し付けるのではなく、滞在している国や文化を受け入れながらお互いに理解しあうことが大切であることを改めて感じました。

三つ目は、人脈が一番大事であることです。今回のゼミ合宿にはゼミ学生、先生だけではなく、大学院生、OB・OG、建築学科、浙江旅行学院の学生と同行しました。大学院生と話すことにより、普段学内とは違う雰囲気であらゆる話ができ、OB・OGの方と話すことにより将来の方向性を考えることができ、他学科の学生と交流することにより新しい友達も増え、浙江旅行学院の学生と交流すれば中国語力も伸び、相手の日本語力も伸び一石二鳥とともに海外の友人ができます。また、時には恋人もできます。こうして、人脈の輪を自ら広げることによって損得は大きく分かれてくるのではないかと思います。

最後に、このゼミ合宿を通じて私は同じ地球上に生活していても国が異なれば文化も違い、言葉も違いながらも心はずぐにつながるということです。実際に現地へ足を踏み入れるまでは軽い考えでしたが、理想と現実が違うのはまさにそうです。お互いがお互いを理解しあいながら共生していきながら日本にとどまらず広く世界へ人脈を広げていくことが私の将来に向けて大事なことであり、強く感じました。是非、みなさんが海外へ渡航する機会があったら積極的にコミュニケーションをとって人脈を増やして試してみてください。どこか新しい自分と出会ってみてください。